

I CELLISTI

イチェリステイコンサート



West Australian Symphony Orchestra

WASO チェロカルテット

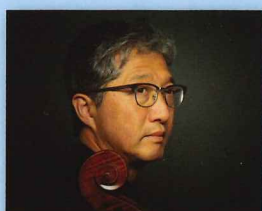
- 日 時 7月14日(日) 開場16:30 開演17:00~18:00
夕食18:30~20:00
- 会 場 山中湖畔荘ホテル清溪 レストラン・ラプソディー
- 主 催 (一財)日本青年館 日本青年団協議会 (株)ニッセイ
- 入 場 料 6,000円(コンサート・飲食代含む) ▼宿泊者10,000円(コンサート、夕食、朝食付き)
- 後 援 駐日オーストラリア大使館
- お問い合わせ ☎0555-62-0020 (ホテル清溪フロント)



WASO(ウエスト・オーストラリアン・交響楽団)は1928年創立。本拠地はパース・コンサートホール。ICELLISTIはそのWASOのチェロ奏者4人で、1994年に結成。これまでに総勢9名が関わってきました。今回はその中でも最も長いオリジナルメンバーの小松とSKORDAS、2年目から参加しているTOOBY、そして2008年WASO入団のホープMETCALFEを加えての来日になります。オーストラリアでは自主公演、音楽祭への参加、ABC国营放送のFMラジオ、テレビの出演をはじめ、CDの制作などを行ってきました。2003年には文化庁の要請で3週間のオーストラリア国内ツアーが実現しました。2005年愛知万博に招待され、会場のみならず、東京、名古屋、福岡でも公演しています。この年オーストラリア政府の要請で2枚目のCDを制作しています。2006年にも日本に再上陸。札幌、帯広、北九州、久留米などで公演。2009年、鹿児島から帯広まで(移動はすべて列車)の日本縦断大型地方巡業もしました。チェロ4本という特殊な編成のためレパートリー作りに苦労しますが、日本の皆様に喜んで頂けるよう最善を尽くします。

チェロカルテット主な演奏予定曲

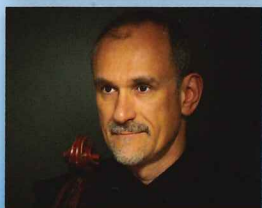
- イアン ラックマン作曲 ニューヨークジャジカル
- 秋透編曲 日本の四季メドレー
- ポッパー作曲 ポロネーズ ディ コンサート
- Rコルサコフ作曲 熊蜂の飛行
- チャイコフスキー作曲 アラビアンダンス
- カタロニア民謡(カザルス)鳥の歌
- 相澤洋正作曲 鬼蜻蜒 Oni-yanma(世界初演)
- 他



小松 茂 (コマツ・シゲル)

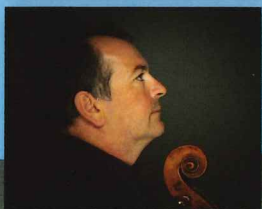
メンバープロフィール *Profile*

滋賀県大津市出身。京都芸術大学にて黒沼俊夫氏、上村昇氏に師事。神戸室内合奏団、シドニーでアルジマンタス・モティエカイティスの元チェロの研鑽を積む。ABCシドニーシンフォニアを経て1987年ウエスト・オーストラリアン交響楽団入団。



フォーティス・スコダス (FOTIS SKORDAS)

ギリシャ人二世としてアデレードに生まれる。アデレード、エルダー音楽院でヤニス・ローズに師事。1998年よりウエスト・オーストラリアン交響楽団。ピナクル弦楽四重奏メンバー。



ジョン・トゥビー (JON TOOBY)

スコットランド生まれ。3歳でオーストラリアに移住。パースの音楽院の後ロンドン・ロイヤルアカデミーでクリストファー・バンティングの元研鑽を積み、帰国後オーストラリア国内音楽コンクールで2位に。1992年よりウエスト・オーストラリアン交響楽団。2018年よりダーウィン交響楽団音楽監督(指揮)



ニック・メツカーフ (NICK METCALFE)

マルカス・ストーカーの元グリフィス大学クイーンズランド音楽院で1999年に音楽修士号を得た後アデレードにてヤニス・ローズの元研鑽をつむ。2005年メルボルンのオーストラリア国立アカデミー音楽科に入学。ローハン・デ・コーテの元チェロを、イーゴル・マハラクの内奏を学ぶ。バンクシャーピアノトリオのメンバーとしてオーストラリア室内楽コンクールで聴衆投票第一位に輝く。その後ウイーンに留学ハワード・ベニーの指導を受け、2008年にウエスト・オーストラリアン交響楽団入団。



Tel.03-3401-0101

●東京メトロ銀座線 外苑前駅 (3番出口)より徒歩5分

1,250席
日本青年館ホール

Tel.03-6447-5660

